

II 北海道大学 II

医学部、創立100周年記念事業

北海道大学医学部は今年4月に創立100周年を迎えたことを記念し、「医学部百年記念館落成式」、「医学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会」を挙行了した。医学部の北側に建築中だった「医学部百年記念館」が今年9月に無事竣工となり、これを記念して、10月8日に落成式を挙行。また10月12日には、京王プラザホテル札幌で、医学部同窓生、関係教職員等約200名が出席し、医学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会が挙行された。



浅香同窓会長

笠原総長職務代理

吉岡医学部長



祝賀会。関係者による鏡開き

記念式典では、吉岡充弘医学部長からの式辞に続き、笠原正典総長職務代理、浅香正博医学部同窓会長・北海道大学医学部創立100周年記念事業後援会長の挨拶の後、丸山浩文科省高等教育局医学教育課長、鈴木直道北海道知事、秋元克広札幌市長、長瀬清北海道医師会会長から祝辞が述べられた。

引き続き行われた記念講演会では、北海道大学医学部第58期同窓生である武井弥生氏から「次世代へのバトン〜アフリカ・アジア開発途上国での医療支援を経験して」と題し、これまでの自身が体験してきた、エチオピア、東ティモール、タンザニアでの医療支援活動について講演があり、次いで、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の川口淳一郎特任教授から「やれる理由こそが着想を生む。〜はやおさ式思考法〜」と題し、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトについてのエピソードと共に制約に縛られずに挑戦をすることの重要性について講演があった。

記念講演会終了後、会場を移して祝賀会が行われた。会の結びには、田邊達三北海道大学名誉教授から「大志BBAに培われて開基100周年」と題して、医学部及び北海道大学病院のこれまでの100年を振り返る講演が行われ、秋田弘俊北海道大学病院長による乾杯、最後に、出席者全員による「都ぞ弥生」の斉唱が行われ、盛況のうちに終了した。

II 北海道大学 II

「NoMaps釧路・根室」を共催

北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点(9月11日、釧路プリンスホテル会議場)において開催された「NoMaps釧路・根室」を、大地みらい信用金庫、一般財団法人大地みらい基金とともに開催した。

「NoMaps」は、北海道を舞台に新しい発想や技術によって、より良い未来を創ろうとする人々の交流を目的としたコンベンション(会議)で、今大会は釧路・根室管内の基幹産業である水産・酪農・観光業と、最先端の工学・情報技術をつなぐ場を設け、大学研究

機関、情報工学関連企業と地元起業のマッチングによる新技術の開発、新規事業の創出および地域基盤産業の強靱化とイノベーションを目的に、「NoMaps釧路・根室」の名称で釧路において初めて開催された。プログラムは、セッション1「観光業×テクノロジー」、セッション2「情報技術」、セッション3「水産・酪農業×テクノロジー」の3部分に分かれ、同大ロバスト拠点はセッション3を担当した。

今大会には、民間企業や行政機関などから234名が参加。先端技術に対する地域の関心の高さが窺われた。